

低線量CT肺がん検診を受けませんか

～日本人のがんによる死亡数1位は肺がんです～

わが国におけるがんによる死亡の第1位が肺がんです。小さな病変を早期に発見することができ低線量CT検査による肺がん検診をお勧めします。

2022年部位別がん死亡数

	1位	2位	3位	4位	5位
男性	肺	大腸	胃	膵臓	肝臓
女性	大腸	肺	膵臓	乳房	胃
男女計	肺	大腸	胃	膵臓	肝臓

国立がん研究センターがん情報サービス

低線量CT肺がん検診のメリット

- ・胸部単純写真の約10倍の発見率で、より早期の肺がんの発見が可能
- ・放射線被ばく量が少ない
(通常の胸部CT検査では4～12mSVですが、低線量CT検査では2.5mSV以下)
- ・肺がん以外の肺気腫や肺結核、肺以外の疾患(甲状腺腫、縦隔腫瘍、胸部大動脈瘤など)が見つかることがある

こんな方にオススメ

- ・ 現在喫煙している人、特に喫煙指数が 600 以上の方
(例：1 日 20 本、30 年間の喫煙指数は $20 \times 30 = 600$)
- ・ 禁煙して 10 年以内の方
- ・ 呼吸器症状(咳、痰、胸痛など)がある方

※以下の方は対象外です

- ・ 肺がんの疑いで経過観察中の方
- ・ 肺がん治療中の方
- ・ 肺がん術後の方

検査時間： 約 5 分 料金： 9,000 円(税込)